

いばらきNIEだより

茨城県 NIE 推進協議会

2022
令和4年1月28日
第12号

奨励賞、金久保さくらさん いっしょに読もう！新聞コンクール

第12回「いっしょに読もう！新聞コンクール」(主催：日本新聞協会)には、47都道府県から計6万4,513編(小学生5,580編、中学生2万9,036編、高校・高等専門学校生2万9,897編)が寄せられ、各部門の最優秀賞に各1編(合計3編)、優秀賞に各校種10編(合計30編)、奨励賞に120編が選ばれました。また、団体応募は505校あり、優秀学校賞には小・中・高校各5校の合計15校、学校奨励賞には197校が選定されました。

本県からは、奨励賞に石岡市立園部中学校 1年 金久保さくらさんの「ランドセル 再利用広がる」(読売新聞2020年12月22日付朝刊)が、学校奨励賞には、新聞に触れる日常的な活動を含め、熱心に取り組んだ意欲的な学校として、日立市立宮田小学校、稲敷市立あすま西小学校、日立市立坂本中学校、県立下館工業高等学校が選ばれました。



【ご案内】新聞でSDGs 授業デザイン オンライン体験 (主催：日本新聞協会)

講師 有馬進一氏(元公立中学校総括教諭、日本NIE学会理事) 遊佐美恵子氏(朝日新聞社)
日時 2月23日(水・祝) 13:00~15:30
参加費 1,000円(「ベタッとSDGs新聞学習ふせん」ほか教材費と送料・税込み)
申込方法 2月10日(木)までにnpevent@pressnet.jpにメールまたはPeatixでPeatixの申し込みフォームへのリンクは、日本新聞協会ウェブページ(<https://newspark.jp>) 定員 40人
当日はZoomを使用します。

SDGs

コロナ禍のNIE実践⑦ 高萩清松高等学校：揚石俊志 教諭

高萩清松高等学校では、コロナ禍での生徒の安全と安心に配慮し言葉と文章を正しく「読む」「書く」「伝える」力を養い、社会で必要とされる表現力、コミュニケーション能力の向上に努めています。指導されている国語科の揚石俊志先生にNIEの実践と成果について伺いました。

Q1 NIEの取り組みについて？

揚石俊志教諭→

A1 本校は総合学科であるため、幅広い分野を生徒が学び、多くの授業で新聞を活用した授業を行っています。そのため、生徒が関心を持つ新聞記事も多岐に亘ります。工業を学ぶ生徒が興味を持ったのは、工場が地元の新設される記事でした。また、福祉を専門に学ぶ生徒は介護保険料について関心を持ちました。福祉を専門に学ぶ生徒から記事の詳しい解説を聞くことができるのも本校の特色です。

Q2 NIEを実践する意義は？

A2 「地域社会で活躍する人材を育てたい」という思いがあります。地域社会のリーダーとして、社会変化を適切に捉え、幅広い世代の考えに気づき、職業的視野から解決策を考えられる。これからの未来を形にする力を育成することがNIEからできると考えています。

Q3 高萩清松高等学校における実践

A3 本校昇降口には新聞掲示板と、新聞を映像化したその日のトップニュースを紹介するモニターが設置してあります。新聞を見る習慣を身に付けて社会人となってほしいという思いからです。また、授業ではキャリア教育として、生徒自身の就職する分野の記事を読み、分析し、進路に繋げる取り組みを行いました。

Q4 これからのNIE実践について

A4 新聞には高校生に係るニュースがたくさんあります。ニュースを教育に活用するのはもちろんですが、生徒自身の生活に新聞を活用してもらえよう、さらに、新聞を身近な存在にしていきたいです。

昇降口の新聞に見入る生徒→



広がるNIE③

稲敷市立あすま西小学校

11月25日(木)、稲敷市立あすま西小学校(浅野剛校長)のNIE公開授業がありました。4年1組「水戸市の残したいもの、伝えたいもの」(社会科)、6年1組「町の幸福」(国語科)、自立活動「形や色を生かして表現」などで、新聞記事を活用する事で、教科書だけでは知ることのできない情報や学び、また、コラージュ作品(新聞紙を素材)がありました。

【あすま西小学校 授業風景】



広がるNIE④

茨城町立青葉中学校

12月14日(火)、茨城町立青葉中学校(荻谷智徳校長)のNIEの公開授業がありました。宮内周也教諭は、新米記者が見た「走れメロス」と題した国語の授業を2年2組で行いました。

生徒たちは、「走れメロス」の最後の場面に居合わせた記者となり、記事作りに挑戦しました。見出しやリード文を考え、5W1Hを確認しながら記事を作成していました。

【青葉中学校 授業風景】



未来への学び

茨城県NIE推進協議会(会長：藤井千春 早稲田大学教授)

〒310-8686 水戸市笠原町978-25 茨城県開発公社ビル

事務局(茨城新聞社NIE事務局内) 澤畑・金澤・高橋(文責)

TEL029-239-3004 FAX029-301-0361 E-Mail takahashi-t@ibaraki-np.co.jp